

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料

生 活

教科用図書南那珂採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 生活科の目標を達成するために、身近な自然を利用した学習活動や郷土・地域の人々に愛着をもつことに関する学習活動を重視した構成になっている。季節を取り扱う単元では、「夏」「秋」「冬」「春」で構成され、「春」においては、自然だけでなく季節による人々の生活の様子や暮らしの変化に目を向けさせ、自分自身や自分の生活について考えられるような配列の工夫が見られる。
4 大日本	(1) 生活科の目標を達成するために、生命の尊さを実感する学習活動や、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を重視した構成になっている。夏休み前は自然や生き物にふれあえる単元を配列し、まちの身近な人々について取り扱う単元を夏休みの後に配列することで、対象に連続的に関わり、その特徴やよさ・自分自身について深い気付きを促す工夫が見られる。
11 学 図	(1) 生活科の目標を達成するために、生命や自然を尊重する学習活動や伝統的な遊びや行事に愛着をもつ学習活動を重視した構成になっている。家庭生活に関わる単元では「家族へ感謝を伝える」という思いをもちながら活動を進めていく単元構成となっており、家の仕事に挑戦し、大変さを実感しながら生活上必要な習慣や技能が身に付けられるような工夫が見られる。
17 教 出	(1) 生活科の目標を達成するために、季節の移り変わりについての学習活動や自然の不思議さを実感する学習活動を重視した構成となっている。季節の自然を取り扱う単元では、「春」「夏」が一つの単元に設定されており、各季節の様子や活動したことを意識したり振り返って比較したりしながら、児童の気付きが高まっていくような工夫が見られる。

38 光 村	(1) 生活科の目標を達成するために、生命を尊ぶ態度を育む学習活動や、身近な地域への親しみをもつ学習活動を重視した構成になっている。町の公共施設を焦点化した大単元が設定され、利用したり話を聞いたりする具体的活動を通して、自分の地域への興味・関心を高め、それらの関わりなどに気付かせるような工夫が見られる。
61 啓林館	(1) 生活科の目標を達成するために、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動や、命のつながり・命の尊さを実感する学習活動を重視した構成になっている。2年生の始めに「1年生をむかえよう」という単元が設定され、自分の既存の経験や思いを振り返りながら1年生の迎え方や関わり方に気付き、身近な人々に適切に関わることができるような工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 紙面下段の「学びをふかめる」コーナー、学習活動や思考の流れを示した「学びのプロセス」の例示など、児童の気付きの質を高める手立てがとられており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 公園での約束などの安全安心に配慮した「やくそくコーナー」や巻末の「かつどうべんりちょう」など、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 絵本や新聞、巻物、デジタル図鑑などの多様な表現方法の例示など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。
4 大日本	(1) 活動のページでは、多くの写真やイラスト、吹き出して児童の活動の幅を広げるなど、児童の気付きの質を高める手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 道路の歩き方や学び方などがまとめられた「がくしゅうどうぐばこ」や語彙力を向上させるための「ことば」コーナーなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 自分の思いや願いを書くスペース、心の動きを表情として描く「気持ちマーク」など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。
11 学 図	(1) 単元ごとに主となるキャラクターを設定し、学習を通して変容し、成長していく姿を通して児童の気付きの質が高まる手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 季節に応じた様々な遊びの紹介、巻末の生活上必要な習慣や技能を身に付けられるコーナーなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 顔マークで自己評価を促し、単元末には「もっと〇〇したい」ページが設けてあるなど、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。

17 教 出	(1) 各単元の導入では、既存の経験や興味・関心に合わせた学習を選択するページや、試行錯誤を促す「まとめいろ」など、児童の気付きの質を高める手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 身に付けさせたい約束やヒントのコーナー、挨拶や道具の使い方などを示した「学びのポケット」があるなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 振り返りを書き込む「なにをかんじたかな」、自己評価ができる「ぐんぐんはしご」など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。
38 光 村	(1) 大単元末には対話を通して振り返ることができるページや児童のつぶやきを描いた「こんなことあるかもね」コーナーなど、児童の気付きの質を高める手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 活動のヒントや考え方などを示した「学び方のヒント」が豊富に示されているなど、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 小単元に活動中の気持ちを思い出す「きづいた」「くらべた」などの観点を示した「ふりかえろう」を位置付けるなど、児童の表現力を高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。

61 啓林館	(1) 「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成する単元の流れにより、児童の意欲を喚起し、直接体験を大切にしながら伝え合いを充実させる手立てが取られており、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 植物や生き物、安全や健康に関することがまとめられた図鑑、学習のヒントとなる「まなびのひんと」など、活動の質を高める手立てが取られており、「知識・技能の基礎」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 「できるかなできたかな？」の振り返りコーナーや学びを広げる「ひろがるきもち」など、児童の実態に応じた表現力などを高める手立てが取られており、「思考力・判断力・表現力などの基礎」を育成できるような工夫が見られる。
--------	--

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 上巻末に実物大植物を掲載した「いきものずかん」とQRコード「デジタルいきものずかん」など、具体的な例示や資料を随所に設けることで興味・関心を高め、また植物の成長を比較できる「パノラマページ」で成長や変化に気付かせるなど、学びを深める工夫が見られる。
4 大日本	(1) アサガオなどの写真やイラストを原寸大で掲載し、児童自身の経験と比較しやすい視点をもつようにすることで興味・関心を高め、また「がくしゅうどうぐばこ」を設け具体的な学び方を例示することで学習活動へのイメージをもち、主体的な活動に取り組める工夫が見られる。
11 学 図	(1) 季節や地域に合わせた「ものしり図かん」などの資料ページを設けることで興味・関心を高め、また「もっとみつけない。」などの自発的な言葉をもとにしたリード文によって、次の活動をイメージすることができ、自ら活動を広げることができる工夫が見られる。
17 教 出	(1) 単元冒頭の「わくわくすいっち」で学習過程をイメージできるようにすることで興味・関心を高め、またキャラクターと共に学ぶ「はっけんロード」では、セリフをヒントに学習をとらえたり進めたりすることで、見通しをもって学習に取り組むことができる工夫が見られる。
38 光 村	(1) 学びに合わせて活用できる別冊「ひろがるせいかつかじてん」を設け、実際の活動で切り離して持ち運ぶことができるように工夫されている。絵本作家による個を大切にした言葉やイラストが掲載され、安心して自分の学びを進めることができる工夫が見られる。
61 啓林館	(1) 図鑑編集者監修写真が掲載された「びっくりずかん」や気付きの視点を問いかけで示すなど、興味・関心を高め、また次の活動のヒントとなる気付き、思いや願いを「めくり言葉」として表記することで、次時活動に見通しをもち、活動が連続して進められる工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、児童の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、児童の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、「保護者の皆様へ」のコーナーや地域の人と関わっている写真を掲載したり、地域の人々と関わって見つけた「まちのよさ」を発信する活動を設定したりすることで、家庭や地域が児童の学びを支えることができるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、学びのプロセスでは気付きが自覚化される児童の姿が具体的に示され、掲示物などがイラストで紹介されていたり、活動や体験を通して得た気付きを様々な方法で表現したりするなど、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする工夫が見られる。
4 大日本	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、家庭で保護者に聞いたり、一緒に活動したりする場面が設けられており、家庭や地域との関わりでより活動が深まるような場面では、その具体的な写真や対話を掲示することで、家庭や地域が児童の学びを支えることができるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、具体的な活動や体験を通して身に付けさせたい生活技能を、特設ページ「がくしゅうどうぐばこ」に豊富な資料をもとに掲載することで、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする工夫が見られる。
11 学 図	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、家庭や地域の人々との具体的な取組や挑戦したいことが写真で示してあったり、日本各地の地域の行事などの資料を豊富に掲載したりすることで、家庭や地域が児童の学びを支えることができるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、活動を通して得られた児童の気付きや思いを学習カード、作文などの多様な方法で表現することで表現力の基礎を高めるとともに、単元末には「もっと〇〇したい」ページが設けてあるなど、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする工夫が見られる。

17 教 出	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、保護者向けへ学習の目標やつきたい力、交流の仕方等を掲載しており、季節ごとに地域の行事の資料やQRコードを掲載するなど、地域に目を向けることができ、家庭や地域が児童の学びを支えることができるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、巻末の「学びのポケット」では、生活科で身に付けた資質・能力を他教科で発揮することができよう整理されていることで、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする工夫が見られる。
38 光 村	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、保護者へ向けて学習のねらいを明示したり、保護者に協力してほしいことや日常生活の中で児童と対話するテーマが示されたり、安全にすることがQRコードで見られたりするなど、家庭や地域が児童の学びを支えることができるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、小単位ごとに「ふりかえろう」が設定され、こまめに活動中の「気持ち」と「思考・態度」の両面から確かめ表現することで、主体的に考えを深めさせ、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする工夫が見られる。
61 啓林館	(1) 家庭や地域との連携が図れるように、巻末や「保護者の方へメッセージ」が設けられており、QRコードで家庭でも生活科の学びが継続でき、地域の人的・物的資源の活用の例が写真やイラストで示されているなど、家庭や地域が児童の学びを支えることができるような工夫が見られる。 (2) 児童の確実な基礎・基本の定着のために、「学びのヒント」や「こんなときどうしよう」で、学びを深めるポイントや活動の質を高める手立てが紹介され、「がくしゅうずかん」で調べ方や記録の仕方など基本的な学び方を示してあり、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする工夫が見られる。